

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果の公表について

千葉市では、令和8年度全国学力・学習状況調査結果を公表しますので、お知らせします。

1 公表日および公表方法

(1) 公表日

令和8年10月21日（水）

(2) 公表方法

市ホームページで公開

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/kyoikushido/26gakuryokutyousa.html>



2 令和8年度全国学力・学習状況調査の概要

(1) 調査目的

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③上記の①と②の取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査実施日

小学校国語・算数、中学校国語・数学 令和8年4月23日

中学校英語 令和8年4月20日～5月29日

(3) 調査対象校・対象学年・対象児童生徒数

小学校 108校 第6学年児童約7,000人

中学校・中等教育学校 54校 第3学年生徒約6,600人

(4) 調査内容

ア 教科に関する調査

小学校 国語・算数

中学校 国語・数学・英語

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活のさまざまな場面に活用する力や、課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

①児童生徒に対する調査（小学校108項目・中学校131項目）

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

②学校に対する調査（小学校87項目・中学校95項目）

指導方法に関する取り組みや、人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査

3 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査結果

ア 全国、千葉県、指定都市の平均正答率（IRT スコア）と千葉市全体の結果（別添概要の p 1）

小学校 第 6 学年	国語	算数
	平均正答率 (%)	平均正答率 (%)
千葉市	62	58
全国	61	56
千葉県	61	56
指定都市	62	57
全国との比較	1	2

中学校 第 3 学年	国語	数学	英語
	平均正答率 (%)	平均正答率 (%)	平均 IRT スコア
千葉市	66	59	505
全国	64	57	499
千葉県	64	57	498
指定都市	64	58	—
全国との比較	2	2	6

※指定都市の値は公表された各指定都市平均正答率の平均値

※中学校英語は IRT に基づいて算出される学力スコアの数値（基準値は 500）

イ 本市の調査結果に見られる特徴

①平均正答率より

- ・全国の平均正答率と比較して、本市の小学生は、国語は 1 ポイント高く、算数は 2 ポイント高い。中学生は、国語・数学は 2 ポイント高い。英語は IRT スコアの平均が 6 高い。
- ・千葉県の平均正答率と比較すると、本市の小学生は、国語は 1 ポイント高く、算数は 2 ポイント高い。中学生は、国語・数学は 2 ポイント高い。英語は IRT スコアの平均が 7 高い。

②正答数の分布（別添概要の p 2～4）

- ・国語、算数・数学、英語いずれの教科においても、全国とほぼ同等の分布を示している。

(2) 児童生徒に対する質問調査結果（一部抜粋）（別添概要の p 10～21）

ア 「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」

小学生→82.6%（全国81.8%より0.8ポイント高い）

中学生→64.8%（全国67.6%より2.8ポイント低い）

イ 「PC・タブレットなどのICT機器を使って、学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができるかについてとてもそう思う、そう思う」

小学生→78.7%（全国74.6%より4.1ポイント高い）

中学生→82.2%（全国80.0%より2.2ポイント高い）

ウ 「5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う、どちらかといえばそう思う」

小学生→76.3%（全国77.6%より1.3ポイント低い）

中学生→77.5%（全国78.8%より1.3ポイント低い）

エ 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をする」

小学生→26.1%（全国21.6%より4.5ポイント高い）

「全くしない」は5.7%（全国と同等）

中学生→37.0%（全国30.1%より6.9ポイント高い）

「全くしない」は7.0%（全国6.9%より0.1ポイント高い）

オ 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う、どちらかといえばそう思う」

小学生→79.7%（全国80.1%より0.4ポイント低い）

中学生→71.6%（全国72.3%より0.7ポイント低い）

4 今後の取り組み

（1）児童生徒の確かな学力の定着を図るため、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進する。そのために以下のような取り組みを行う。

①全国学力・学習状況調査および千葉市学力状況調査の結果を分析し、各校の児童生徒の良い点や伸ばしたい点を整理するとともに、学力の傾向や課題を把握し、その改善に向けて学力向上アクションプランの見直しを行う。その際、以下の3点を大切にする。

- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組めるような活動
- ・学習した内容を見直し、次の学習につなげる活動
- ・学んだことを、実生活と結び付けて考えたり生かしたりする活動

②調査結果の分析と、それを踏まえた学習指導の改善・充実に向けたポイントを示したリーフレット「結果概要と授業改善のすすめ」や、課題となった調査問題ごとに誤答例や授業改善のポイントを収録した解説動画「学力向上への取組」を各学校に配付する。それらをもとに、日々の授業の改善を図り、課題となっていた資質・能力の育成を目指す。

③調査結果において顕著な向上が見られた学校の取り組みについて、全市に展開する。

④ICTを活用した個別最適な学びや家庭学習におけるギガタブ活用の充実を図るなど、ICTの効果的かつ主体的な活用について一層推進していく。特に、児童生徒が課題解決に向けて、必要に応じてICTを自ら選択・活用できるように学校訪問等で指導・助言する。また、ドリルパークなど取り組みやすい家庭学習を促進すること、テストパークを活用して自分の学力の傾向や課題を把握することなどを通して、深い学びと1人1台端末の活用機会の一層の充実を図る。

（2）教育委員会のホームページや各学校が作成する「家庭学習のすすめ」等を通して、授業における取り組みの様子や、ICT機器を活用した学習の効果、家庭学習の大切さ等について、広く保護者に発信する。

（3）自己肯定感を高める指導方法や将来の生き方について考え、夢や目標を持つことができるキャリア教育を推進する。

①千葉市キャリア教育の基本方針「未来を拓くキャリア教育」を踏まえた「キャリア教育グランドデザイン」とキャリア・パスポートの活用を通じた指導の充実を図る。

②企業や各種団体、地域、家庭と連携を図りながら、職業体験学習（職場体験や出前授業等）を実施する。

問い合わせ先

【教科等の指導、今後の取り組み等に関わること】

教育委員会事務局学校教育部教育指導課 電話245-5934

【全国学力・学習状況調査の結果、データの分析に関すること】

教育委員会事務局学校教育部教育センター 電話285-0908